

問1 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し付けたり預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものを選びなさい。（2020年 岡山県公立入試 類似）

1. 市中銀行                      2. 銀行の銀行                      3. 政府の銀行                      4. 発券銀行

問2 家計が銀行に資金を預ける際の利子と、銀行が企業へ資金を貸し付ける際の利子の関係について、銀行が経営を成り立たせるための意図として正しい説明はどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 預金者に支払う利子と貸し付けで受け取る利子の差を利益とし、人件費や店舗の維持費などの経費をまかなうため。
2. 預金の利子を低く抑えることで、家計の貯蓄を減らし、消費活動を活性化させるため。
3. 貸し付けの利子を高くすることで、企業の過度な借入りを抑制し、景気の過熱を防ぐため。
4. 日本銀行の指示により、すべての銀行が共通の利益率を確保し、金融システムの安定を図るため。

問3 銀行は、家計や企業から預金という形で資金を預かり、その資金を必要とする別の企業や個人に貸し出す「金融仲介」の役割を担っています。銀行がこの業務を通じて主な利潤（利益）を得る仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）

1. 預金者から預かった資金は一切動かさず、銀行が独自に発行する株式の売買益のみを主な利益とする。
2. 預金者に支払う預金金利よりも、貸し出しの相手から受け取る貸し出し金利を高く設定し、その利子の差額を利益とする。
3. 預金者に支払う預金金利と、貸し出しの相手から受け取る貸し出し金利を同じに設定し、国から支払われる補助金を利益とする。
4. 預金者に支払う預金金利を貸し出し金利よりも高く設定し、より多くの預金を集めることで発生する口座維持手数料を主な利益とする。

問4 経済成長率がマイナスに近づき、勤労者世帯の収入や支出が前年を下回るような不景気の際、政府と日本銀行が景気を下支えるために実施する政策の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. 政府が公共事業の削減や増税を行い、日本銀行が売りオペレーションを行う。
2. 政府が公共事業の削減や減税を行い、日本銀行が買いオペレーションを行う。
3. 政府が公共事業の増加や減税を行い、日本銀行が買いオペレーションを行う。
4. 政府が公共事業の増加や増税を行い、日本銀行が売りオペレーションを行う。

問5 現代の経済における資金の調達方法のうち、「直接金融」の仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれか。（2024年 石川県公立入試 類似）

1. 日本銀行が市中の金融機関と国債などを売買し、通貨量を調整する。
2. 政府が国債を発行し、公共事業を行うための資金を調達する。
3. 銀行などの金融機関が、預金者から預かった資金を企業に貸し出す。
4. 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する。

問6 経済活動において、物と物を直接交換するのではなく貨幣（現金など）を介して取引を行う背景には、どのような利点があるからですか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 兵庫県公立入試 類似）

1. 自分が欲しいものと相手が欲しいものが一致なくても、円滑に取引ができるようになるため。
2. 電子マネーのみに限定して取引を行うことで、商品の価格変動を完全に抑えるため。
3. すべての国民が自給自足の生活に戻ることを促し、地域経済を活性化させるため。
4. 商品の価値をあえて不明確にすることで、市場における取引の回数を増やすため。

問7 日本の中央銀行である日本銀行は、一般的な銀行とは異なる3つの重要な役割を持っています。そのうち、国が徴収した税金を預かったり、道路建設などの公共事業費の支払いを行ったりするように、政府のお金の出し入れを管理する役割を何と呼びますか。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 銀行の銀行                      2. 発券銀行                      3. 政府の銀行                      4. 市中銀行

問8 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションの状態にあるとき、中央銀行である日本銀行が行う政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。
2. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。
3. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。
4. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。

問9 銀行が主な収益を得る仕組みにおいて、預金者に対して支払う利子と、融資先から受け取る利子の関係についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 預金に支払う利子と融資で受け取る利子を常に同額にし、窓口での事務手数料のみを収益とする。
2. 融資で受け取る利子の利率を、預金に支払う利子の利率よりも高く設定し、その差額を収益とする。
3. 預金に支払う利子の利率を、融資で受け取る利子の利率よりも高く設定し、その差額を収益とする。
4. 利子のやり取りは行わず、政府から支給される補助金のみを銀行の運営資金とする。

問10 景気が過熱し、物価が上がりすぎるおそれがある好況期において、日本銀行が世の中の通貨量を調節するために行う操作とその仕組みについて、正しい説明はどれか。（2023年 長崎県公立入試 類似）

1. 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。
2. 政府が公共事業の支出を増やすことで、社会全体の需要を刺激し、景気をさらに活性化させる。
3. 一般の銀行から国債を買い取り、市場に資金を供給することで、通貨量を増加させる。
4. 所得税の税率を引き下げることで、個人の消費支出を増やし、企業の生産活動を促進する。

問11 現代の経済において「直接金融」が重視される背景として、その仕組みの性質を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 銀行が倒産した場合でも、預金保険機構によって一定額の資金が確実に保護される仕組みであること。
2. 企業が返済不要な資金を銀行から無利子で借り入れることで、経営の安定を図る仕組みであること。
3. 投資家が企業の将来性や事業内容を直接判断し、自己責任でリスクを取って資金を供給する仕組みであること。
4. 日本銀行が景気調整のために、市中の金融機関に対して資金を貸し出す際の金利を操作する仕組みであること。

問12 中央銀行は、通貨の供給量を調節することで物価の安定を図ります。景気が過熱し、物価が上がりすぎると判断された際、日本銀行が市場の通貨量を減らすために行う適切な操作はどれですか。（2017年 静岡県公立入試 類似）

1. 保有する国債を市中銀行に売却する
2. 減税を実施して家計の消費を増やす
3. 公共事業を増やして市場にお金を流す
4. 市中銀行から国債を買い取る